



5

2020

7|22 水

9|13 日



4



1

吉田城と 三河吉田藩 藩主大河内松平家の歴史と文化

休館日

月曜日(8月10日は開館し、翌日休館)

開館時間

午前9時～午後5時
(入場は午後4時30分まで)

観覧料

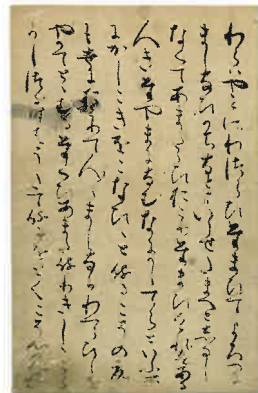
一般・大学生 / 500(400)円
小 中 高 生 / 200(100)円

- ()は前売または20名以上の団体料金。
- 前売券は豊橋市美術博物館・豊橋市二川宿本陣資料館・豊橋市役所じょうほうひろばで7月21日まで販売。
- 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方と介助者1名は無料。
- 東三河の小中学生は「ほの国こどもパスポート」の提示により無料。
- 豊橋市在住の70歳以上は割引料金(200円)。

一般初公開!

定家本源氏物語「若紫」

2



〈本文〉



〈表紙〉

写真: ①吉田城跡瓦(当館蔵)

②定家本源氏物語「若紫」(個人蔵)

③三蝶円内十六葉菊紋旗(個人蔵)(部分)

④松平信雄拝領 獅子蓋銀香炉(個人蔵)

⑤徳川家光筆 木兔図(個人蔵)(部分)

豊橋市美術博物館
TOYOHASHI CITY MUSEUM OF ART & HISTORY

3

吉田城と 三河吉田藩

藩主大河内松平家の歴史と文化

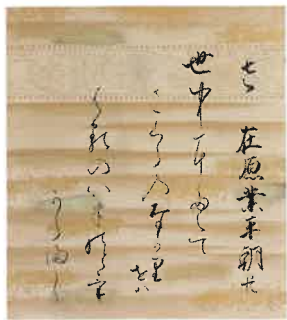
2016年に「続日本100名城」に選出された吉田城は、東海道と水運が交わる交通の要衝に位置し、戦国時代には武将たちによる争奪戦が繰り広げられました。豊臣政権期の城主池田輝政が城を大改造したことで、石垣や瓦屋根の建造物を有する近世城郭へと姿を変えました。江戸時代には有力な譜代大名の居城となり、三河吉田藩の藩庁として機能しました。

三河吉田藩は藩主家の入れ替わりが多く、江戸時代を通じて9家22人の藩主がいましたが、江戸時代後期の約140年間は大河内松平家が7万石で治めました。同家は三代將軍徳川家光の信頼が厚かった松平信綱を初代とする譜代大名で、歴代当主のうち4人が幕府の老中を務めました。なかでも信明は長期にわたって老中首座を任され、寛政の改革を推進しました。また、最後の藩主信古は幕末の政治的混乱期に大坂城代として奮闘しました。

本展では、近年の吉田城の発掘調査成果を紹介するとともに、昨年発見されて話題となった定家本源氏物語「若紫」(一般初公開)をはじめ、書画や工芸品、古文書などの歴史資料を通して、藩主大河内松平家の歴史をたどります。



吉田城本丸二之丸略絵図(豊橋市中央図書館蔵)



狩野永叔画 三十六人歌合手鑑(個人蔵)



紋散牡丹唐草角赤手箱(個人蔵)



松平信綱拝領 琴形硯 銘泉酒(個人蔵)

関連イベント

記念講演会①「新出・源氏物語『若紫』と藤原定家」

藤本孝一氏(龍谷大学客員教授)
日時●令和2年8月9日(日) 午後2時～
場所●当館1階第3展示室
定員●50名(申込制、多数の場合は抽選)
申込●7/1(水)から7/19(日)まで ホームページまたは電話

記念落語会

微笑亭さん太氏(豊橋天狗連)
日時●令和2年8月10日(祝) 午後2時～
場所●当館1階第3展示室
定員●50名(申込制、多数の場合は抽選)
申込●7/1(水)から7/19(日)まで ホームページまたは電話

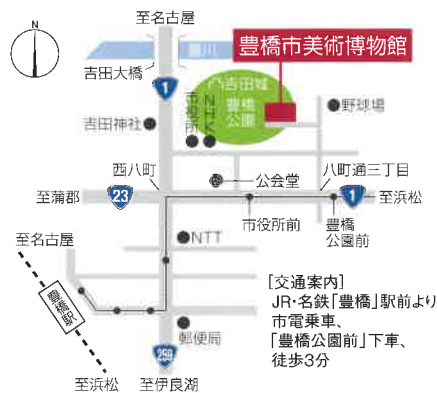
記念講演会②「『源氏物語』と大河内本藤原定家自筆若紫巻の愉しみ」

山本淳子氏(京都先端科学大学教授)
日時●令和2年8月22日(土) 午後2時～ 場所●当館1階第3展示室
定員●50名(申込制、多数の場合は抽選) 申込●7/17(金)から8/9(日)まで ホームページまたは電話

関連講座①「発掘調査でわかる吉田城」 岩原剛(豊橋市文化財センター所長)

関連講座②「大河内松平家における宝物の管理」 久住祐一郎(当館学芸員)

日時●令和2年8月23日(日) 午後2時～ 場所●当館1階第3展示室
定員●50名(申込制、多数の場合は抽選) 申込●7/17(金)から8/9(日)まで ホームページまたは電話



TOYOHASHI CITY MUSEUM OF ART & HISTORY
豊橋市美術博物館

〒440-0801 愛知県豊橋市今橋町3-1(豊橋公園内)
TEL.0532-51-2882 FAX.0532-56-2123
http://www.toyohashi-bihaku.jp/



※新型コロナウイルスの影響により、展示や関連イベントを中止する可能性があります。最新の情報は、当館ホームページにてご確認ください。